

この度は「モノブロックストロボ GE-250」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございました。
当説明書をよくご覧頂き、末永くご愛用頂けますようお願い致します。

■ DATA SHEET

AC	100v 50/60Hz
出力	250ws ~ 7.8ws
光量	F22+0.3EV (ISO-100/1m ダイレクト)
調光範囲	FULL ~ 1/32 無段階調光 (5EV)
モデリング	75W ハロゲンモデリングランプ
クーリングファン	無
充電中サウンド	断続音 (ピーピーピー) ON / OFF
スレーブ	ON/OFF
充電時間	約 0.3 ~ 3.5 秒 (50Hz)、約 0.3 ~ 3.0 秒 (60Hz)
色温度	5500K±200
閃光時間 (FULL)	1/1000s
サイズ	約 20×20×11cm
重量	1,160g
お届け内容	本体、75w モデリングランプ、AC 電源コード

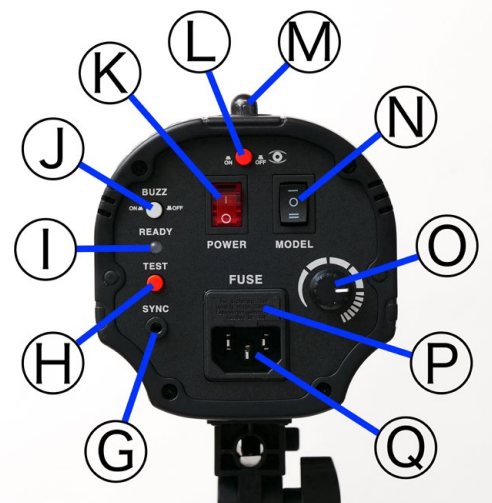


■ お届け内容：

- 1：本体
- 2：電源ケーブル (GN-ACCD)
- 3：モデリングランプ (JCD-75)

■ 各部名称

- A：雲台角度調整ノブ
- B：アンブレラホルダー
- C：内蔵リフレクター
- D：モデリングランプ
- E：フラッシュチューブ (発光管)
- F：ダボ受け固定ノブ
- G：シンクロコードソケットφ3.5mm
- H：テスト発光ボタン
- I：充電インジケータ LED
- J：チャージ音切替スイッチ (ON / OFF)
- K：電源スイッチ (I : ON / O : OFF)
- L：内蔵スレーブ切替スイッチ (ON / OFF)
- M：スレーブセンサーカバー
- N：モデリングライトスイッチ (CONTROL / OFF / FULL)
- O：出力調整ノブ (FULL ~ 1/32)
- P：ヒューズボックス
- Q：電源ケーブルソケット



■ 取付と使用法

1. モデリングランプ【D】を、発光部の中心に真っ直ぐ奥まで差し込む。
2. ストロボ本体を電源ケーブルでコンセントに接続し、電源スイッチ【K】をONにすると充電を開始。充電が終了し、ストロボの発光準備が整うと、充電インジケータ LED【I】が点灯。
3. テストボタン【H】を押すと、ストロボが閃光する。
4. シンクロコードもしくはラジオスレーブ受信機のφ3.5mmプラグをシンクロコードソケットφ3.5mm【G】に接続し、もう一方（発信機）をカメラに接続する。カメラ（先幕シンクロに設定）のシャッターを押すとストロボが同調し閃光する。この時、シャッタースピードをX接点より速く、もしくはラジオスレーブのシンクロ性能より速く設定してしまうと、閃光がシャッター幕に遮られ暗くなる（ケラれる）ので注意すること。
5. モデリングライトスイッチ【N】を「-」（CONTROL）にすると、ストロボの出力に応じてモデリングランプの明るさが調整される。モデリングライトスイッチ【N】を「=」（FULL）にすると、ストロボ出力に関係なくモデリングランプは常に最大光量で発光する。
6. 出力調整ノブ【O】を回して、ストロボの出力電力（光量）を制御。反時計回りに最後まで回すと最小（1/32）出力となり、時計回りに最後まで回すと最大（FULL）出力となる。
注：出力調整ノブ【O】を反時計回りに回し出力を落として調整した場合、最初のフラッシュは元の高電力のままであり、そのまま撮影すれば調光前の出力で発光してオーバー露光（白飛び）してしまう。その次の発光から調整された出力電力（光量）になるので、出力を落とした場合は予め1度「捨て発光」してから撮影に入ることをお勧めする。
7. 電源に接続しても電源スイッチ【K】が入らない（点灯しない）場合、ヒューズが切れている可能性がある。この場合は、マイナスインスライバなどで電源ソケットの上にあるヒューズカバーを取り外し、ヒューズを交換する。
8. 内蔵スレーブを使用する場合、スレーブセンサーカバー【M】の透明な部分を他のストロボの方向に向けて受光しやすくする。
9. 使用後はモデリングランプが冷めたことを確認して、素手で触らないよう軍手やウエスなどを使ってモデリングランプ【D】を真っ直ぐ引き抜き、緩衝材に包んで保管する。

■ メンテナンス

1. 電源は必ずオフにし（電源ケーブルをソケットから引き抜きます）、本体にアクセサリが取り付けられている場合は外し、機器のメンテナンスまたはクリーニング（水気やアルコールは使わず、乾いた布で拭く）をして下さい。
2. フラッシュチューブやモデリングランプが熱くなるのは正常な現象です。ストロボの寿命を伸ばすためにも、高速連写はしないでください。
3. アクセサリ（ソフトボックス、スヌートなど）は、耐熱性が高いものを使用してください
4. 湿気が多い場所、極寒または高温の環境では使用しないでください。
5. 電気技師以外の方が触れると致命的となる可能性のある高電圧ストレージコンデンサが含まれているため、ストロボを分解、修理、または改造しないでください。
6. 閃光時、フラッシュチューブに触れたり、直接見つめたりしないでください。子供の手が届かないようにしてください。
7. 製品に問題があったり、濡れたりした場合は、使用する前に弊社技術専門スタッフが製品をオーバーホールする必要があります。事故防止のため、無理に使用せず弊社の沖縄本社まで点検修理にお出し下さい。
8. 発光管が消耗すると、フル発光は可能でも低光量が発光できなくなってきます。その際は修理依頼して頂くことで、発光管の交換修理（¥8,800- 往復送料別）を承ります。
詳しくは弊社ホームページ「修理 / 補償」のページをご参照ください。
<https://www.prokizai.com/view/page/service>

■ 注意事項

- ・本機を分解、改造することは危険ですのでお止めください。
- ・フラッシュチューブ（発光管）およびモデリングランプ発光部は高温になりますので、火傷にご注意ください。
また、素手で触ったり汚したりすると故障の原因となりますのでご注意ください。
- ・過度な連続発光はお止めください。故障の原因となります。
- ・使用しない場合は電源ケーブルを抜いてください。
- ・保証規定をご一読ください。

株式会社 **プロ機材ドットコム**

<https://www.prokizai.com/>